

改正

平成10年6月30日条例第13号  
平成12年12月22日条例第38号  
平成13年3月27日条例第5号  
平成14年9月25日条例第20号  
平成16年6月23日条例第21号  
平成18年3月22日条例第13号  
平成18年9月14日条例第22号  
平成20年3月24日条例第4号  
平成20年6月19日条例第15号  
平成21年3月30日条例第6号  
平成23年6月23日条例第8号

上富良野町乳幼児等の医療費助成に関する条例

上富良野町乳幼児の医療費助成に関する条例(昭和48年上富良野町条例第4号)の全部を改正する。

(目的)

第1条 この条例は、乳幼児等医療費の一部をその保護者に助成することにより、疾病の早期診断と早期治療を促進し、もって乳幼児等の健やかな育成を図ることを目的とする。

(用語の定義)

第2条 この条例において次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号の定めるところによる。

- (1) 「乳幼児等」とは、満12歳に達する日(誕生日の前日)以後の最初の3月31日までの者をいう。
- (2) 「保護者」とは、乳幼児等の親権を行う者、後見人その他の者で現に乳幼児等を監護する者をいう。
- (3) 「医療保険各法」とは、次に掲げる法律をいう。
  - ア 健康保険法(大正11年法律第70号)
  - イ 船員保険法(昭和14年法律第73号)
  - ウ 国民健康保険法(昭和33年法律第192号)
  - エ 私立学校教職員共済法(昭和28年法律第245号)
  - オ 国家公務員共済組合法(昭和33年法律第128号)
  - カ 地方公務員等共済組合法(昭和37年法律第152号)
- (4) 「医療費」とは、対象者の疾病又は負傷について、医療保険各法の規定による医療に関する給付が行われた場合において、当該医療に関する給付の額(その者が医療保険各法による療養の給付を受けたときは、当該療養の給付の額から当該療養の給付に関する当該医療保険各法の規定による一部負担金に相当する額を控除した額とする。)が当該医療に要する費用に満たないときのその満たない額をいう。ただし、当該疾病又は負傷について法令の規定により国又は地方公共団体の負担による医療に関する給付が行われたときは、その額を控除した額が当該医療に要する費用に満たないときのその満たない額をいう。
- (5) 「一部負担金」とは、規則で定める一部負担金をいう。
- (6) この条例において「基本利用料」とは、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)第78条第4項に規定する厚生労働大臣が定める基準により算定した費用の額に同法第67条第1項第1号に定める割合を乗じて得た額をいう。
- (7) この条例において「食事療養標準負担額」とは、健康保険法第85条第2項に規定する厚生労働大臣が定める額をいう。
- (8) 「付加給付」とは、医療保険各法の被保険者又は組合員の被扶養者の医療費のうち当該各法の規定により付加給付されるものをいう。ただし、国民健康保険法においては、同法第43条第1項の規定により、一部負担金の割合を減じられた場合には、当該減じられた場合に相当する額をいう。

(受給資格者)

第3条 この条例に定める受給の対象となる者（以下「受給資格者」という。）は、医療保険各法に規定する被保険者若しくは被扶養者であり、かつ、本町の区域内に住所を有する世帯に属する乳幼児等とする。ただし、次の各号の一に該当する者は除くものとする。

- (1) **生活保護法**（昭和25年法律第144号）による保護を受けている乳幼児等
- (2) 児童福祉法第27条第1項第3号に規定する措置により、小規模住居型児童養育事業を行う者若しくは里親に委託され、又は児童福祉施設に入所している乳幼児等（知的障害児通園施設に通所している者を除く。）
- (3) **所得の額**が規則で定める額以上である**保護者**（乳幼児等の生計を主として維持する者に限る。）に監護されている乳幼児等

（受給資格者の認定）

第4条 保護者は町長に受給資格者の認定申請をしなければならない。

2 町長は、前項の申請に基づき、この条例に定める受給資格者と認定したときは、申請者に受給者証を交付しなければならない。

（助成の範囲）

第5条 町長は、医療保険各法による被保険者及び被扶養者であって、本町の区域内に住所を有する世帯（生活保護法（昭和25年法律第144号）による被保護世帯を除く。）に属する乳幼児等にかかる医療費から受給者が負担すべき額として次に掲げる額を控除して得た額（以下「助成額」という。）を保護者に対して助成する。ただし、満6歳に達する日（誕生日の前日）後の最初の4月1日から満12歳に達する日（誕生日の前日）以後の最初の3月31日までの者にあつては、入院及び指定訪問看護に係る助成額に限り、保護者に対して助成する。

- (1) 受給者が満6歳に達する日（誕生日の前日）以後の最初の3月31日までの者にあつては、基本利用料並びに食事療養標準負担額及び付加給付される額
- (2) 前号の受給者以外の者にあつては、一部負担金及び基本利用料並びに食事療養標準負担額及び付加給付される額

2 町長は、第2条第6号に規定する基本利用料の額が規則で定めるところにより算定した額を超えるときは、その超える額を助成することができる。

（助成の申請及び申請期間）

第6条 前条の助成は、保護者からの申請に基づき行うものとする。

2 前項の申請期間は、医療を受けた日の属する月の末日から起算して3年以内とする。

（届出の義務）

第7条 受給資格者がその資格を喪失したとき、又は届出事項に変更があつたときは、保護者は、その旨をすみやかに町長に届出なければならない。

（助成金の返還）

第8条 町長は、偽りその他不正な行為により、第5条に定める医療費の助成を受けた者があるときは、その者から当該助成金の全部又は一部を返還させることができる。

（規則への委任）

第9条 この条例の施行に関し、必要な事項は規則で定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、平成7年1月1日から施行する。

（標準負担額に関する経過措置）

2 この条例の施行の日から平成8年9月30日までの間は、この条例の規定による改正後の条例第2条中「健康保険法第43条の17第2項に規定する厚生大臣が定める額」とあるのは、「600円（健康保険法第43条の17第2項の厚生省令で定める者については、厚生大臣が別に定める額）」とする。

（一部負担金に関する経過措置）

3 平成20年10月1日から平成23年7月31日までの医療費に限り、受給者が3歳未満（満3歳に達する日（誕生日の前日）の属する月の末日までの期間を含む。）又は満6歳に達する日（誕生日の前日）以後の最初の3月31日までの者でその属する世帯の構成員全員が市町村民税非課税者の場合においては、第5条第1項に規定する一部負担金はかからないものとする。

附 則（平成10年6月30日条例第13号）

この条例は、公布の日から施行（中略）する。

附 則（平成12年12月22日条例第38号）

この条例は、平成13年1月6日から施行する。

附 則（平成13年3月27日条例第5号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。ただし、（中略）上富良野町乳幼児の医療費助成に関する条例第3条第3号の改正規定は、平成13年10月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 平成13年3月31日以前に現にこの条例による改正前の上富良野町乳幼児の医療費助成に関する条例第5条の規定により受給資格を有していた者に係る助成については、この条例による改正後の上富良野町乳幼児の医療費助成に関する条例第3条第3号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成14年9月25日条例第20号）

この条例は、平成14年10月1日から施行する。

附 則（平成16年6月23日条例第21号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成16年10月1日から施行する。

（一部負担金に関する経過措置）

- 2 この条例の施行の日から平成19年9月30日までの医療費に限り、受給者が3歳未満（満3歳に達する日（誕生日の前日）の属する月の末日までの期間を含む。）の間においては、この条例による改正後の第5条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成18年3月22日条例第13号）

この条例は、（中略）平成18年10月1日から施行する。

附 則（平成18年9月14日条例第22号）

この条例は、平成18年10月1日から施行する。

附 則（平成20年3月24日条例第4号）

この条例は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年6月19日条例第15号）

この条例は、平成20年10月1日から施行する。

附 則（平成21年3月30日条例第6号）

この条例は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成23年6月23日条例第8号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成23年8月1日から施行する。

（一部負担金等に関する経過措置）

- 2 改正後の上富良野町乳幼児等の医療費助成に関する条例及び上富良野町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の規定は、平成23年8月1日以後の医療費について適用し、平成23年7月31日までの医療費については、なお従前の例による。